

衛星画像解析活用漏水調査事業

【事業目的】

衛星画像のAI解析により水道管の漏水疑いエリアを判定します。これにより、これまで全水道管を対象に実施していた漏水調査(音聴調査)を疑いエリアに絞り込んで実施することが可能となり、漏水箇所の早期特定・早期修繕を促進し、水道管の適切な維持修繕と有収率の改善を図ります。

KPI	漏水調査実施率 (%)	漏水発見箇所数 (延べ 箇所)	漏水調査 1km当たりの 漏水発見数 (%)	漏水調査支援 アプリへの調査 状況登録率 (%)	漏水1箇所あた りの調査費用 (千円/箇所)	平均有収率 (%)	平均漏水率 (%)	アプリを活用し た修繕完了数 (箇所)
令和7年度の 目標 数値	70	77	0.3	70	102	80	17.2	77
令和7年度の 実績 数値	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測	未計測
測定 方法	衛星画像から解析さ れた漏水疑い箇所の うち、市が現地での 漏水調査が完了した 箇所の割合。	漏水調査の結果、実 際に発見された漏水 箇所数。	①発見された漏水箇 所数(箇所)と②現 地漏水調査の完了済 み延長(km)から算 出。 KPI値=①÷②	全漏水疑い箇所のう ち、現地調査の結果 を漏水調査支援アプ リ上に登録できた割 合。	①現地漏水調査の 費用(千円)と②発見 された漏水箇所数 (箇所)から算出。 KPI値=①÷②	有収率とは、水道で 供給した水量のうち、 料金を徴収できた水 量の割合。有収率が 低い要因として、漏 水等があげられる。	漏水率とは、供給し た水量のうち、配管 の老朽化や損傷など によって失われた水 量の割合。	発見された漏水箇所 のうち、漏水調査支 援アプリへの登録内 容を活用して修繕が 完了した箇所数。

評価 (事務局案)	評価		内容例
	①	②	③
⑤効果の有無は まだわからない	地方創生に非常に効果的であった	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果があった
	地方創生に対して効果がなかった	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった
	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった
	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった
	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった	地方創生に効果があった

評価の理由
熊本県と本市を含む県内5市2町が共同して実施する事業です。令和7年度は、熊本県が衛星画像解析漏水調査業務を行い、漏水疑い箇所を特定しました。その結果を基に、本市では、令和8年度に漏水疑い箇所について、現地で漏水調査(音聴調査)を実施し、漏水箇所を特定します。
そのため、令和7年度は、本市での業務は生じておらず、KPIを計測できませんでした。よって、評価は、「⑤効果の有無はまだ分からない」としています。